

第1回 名寄市総合計画審議会

日時：令和7年7月3日（木） 18時30分～20時50分

場所：名寄市民文化センター 多目的ホール

1 開 会

瀬野総合政策課長より開会

2 会長挨拶

結城会長挨拶

3 議 事

(1)次期名寄市総合計画策定の考え方について [資料1][資料1-2][資料1-3]

事務局より説明。

【質疑応答】

委 員：是非市民の意見を聞いて計画策定を進めていただきたい。資料にある総合戦略との関係性に関連して、人口減少対策は市が直面する喫緊かつある意味では最大の課題であると思う。対策については総合的に取組を進めていく必要があると思うが、総合計画の中で総合的あるいは具体的な対応について示してほしい。もう1点は、計画の推進管理に関連して、現状の行政評価は事務事業についての評価を行うものだが、資料では施策についても評価を行うと記載している。どのような仕組みを考えているのか。

事務局：総合戦略との関係性に関連して、6月13日に閣議決定された地方創成2.0基本構想が国から示されたところであり、これらを踏まえた上で、総合計画（第2次）で設定した重点プロジェクトの考え方を取り入れながら人口減少対策を含めて取組を検討していきたいと考えている。計画の推進管理については、現行の行政評価のやり方を改めて見直しを行い、新たな行政評価の仕組みを考えたい。まだ具体的にどのような形で評価を行うかは示すことはできないが、今までよりも効果的で効率的な評価方法にしたいと考えている。

委 員：具体的な方策については今後ということなので期待したいと思う。個人的には施策の評価を是非しっかり進めてほしい。

事務局：今までは総合戦略と総合計画については審議会委員に2回評価をする場があり、非常に重たい作業を実施いただいていた。今回の策定で総合計画と総合戦略を一本化することにより、単純に評価の回数が1回になる。また、総合戦略は議会の議決事項ではなく報告のみ行っていたが、総合計画に統合されることによって議会で審議されることになる。行政評価に関しては、何が課題でどういう施策を行わなければいけないのかを審議会委員から指摘いただけるような行政評価にしなければ、評価作業が形骸化してしまうという危機感を持っている。そういった点が少しでも改善できるように知恵を絞っていきたい。

(2)行政評価(事務事業評価)について [資料2-1][資料2-2][資料2-3][資料2-4]
事務局より説明。

【質疑応答】

特になし。

--- 19時から20時20分まで4つの部会に分かれて外部評価を実施 ---

(3)各部会報告

【A部会】(総合政策・建設水道)

6事業のうち主だった2事業について報告する。

[事業番号 19] 定住自立圏推進事業

外部評価はC。ただし、アウトカム指標の見直しを行った方が良い。現在は市立大学卒業生の定住自立圏域での就職者人数となっているが、広域連携について求められる事業の評価指標としてあまりマッチしていないと思う。

[事業番号 255] 名寄ピアシリシヤンツェ整備事業

外部評価はB。まち全体の経済効果に着目した場合には、もう少し妥当性や有効性、公平性についてももう少し高い評価でも良いと思う。施設の改修についても、全部が無理だとしても手をつけられる箇所だけでも実施した方が良いと思う。

【B部会】(健康福祉)

6事業のうち評価に変更があった2事業について報告する。

[事業番号 57] 生活困窮者自立支援事業

外部評価はC。学習支援事業など課題が複数存在することから、達成度をCとし総合評価をCに変更。

[事業番号 289] 介護人材就労定着支援事業

外部評価はA。新規就労だけでなく、介護現場で働く人のスキルアップにもつながる事業であることから、1次評価と同様に評価5項目をすべてAとする。ただし、いくつかある課題については担当部署で引き続き検討いただきたい。

【C部会】(総務・市民・経済)

評価に変更があった事業について報告する。

[事業番号 107] 交通安全推進事業

外部評価はB。アウトカム指標を達成できていないことから総合評価はDとなっている。しかし、運転免許自主返納支援事業で実績が出ていることや、新たに自転車用ヘルメット購入支援事業を開始していることからD評価にはそぐわないと考える。現状評価の仕組みでは、アウトカム指標を満たさない場合はD評価となることになっていると思うので、最終的な判断は事務局に委ねたい。

【D部会】(教育・大学・病院)

6事業のうち一次評価、ワーキンググループ評価を変更する事業はなし。各事業への提言を報告する。

[事業番号 34] 医療スタッフの充実

外部評価はA。医療スタッフの確保をしっかりと進めていただきたい。また、離職するスタッフもいると聞いているので、その原因究明と環境整備を進めていくことで離職を防ぐことができるのではないかという意見があった。

[事業番号 235] 高等学校支援事業

外部評価としてはD。入口対策としては他自治体を実施している色の濃い取組を参考にする必要があるのではないかと。また、出口対策として地元に着定していただくための取組についても高校と連携していくべきという意見があった。また、より高いレベルの教育にも対応できるよう連携支援が必要と考えている。アウトカム指標については高校統合という大きな変化があったことから、目標値を変更するなどの柔軟な対応があっても良いと思う。

[事業番号 241] 名寄市立大学卒業生の地元定着促進事業

外部評価はC。地元の求人に対する就職割合のような評価があってもいいのではないかと。また、支援策としては、できるだけ幅広い学生にできるだけ公平に支援できる機会を設けていただければと思う。

[事業番号 294] 海外短期留学等支援事業

外部評価はB。大学の魅力につながる事業だと考えている。学生の確保、ひいては地元定着につながっていくと考えられるため、支援の拡充を検討いただきたい。

[事業番号 303] 名寄市立大学学生寮整備事業

外部評価はB。既存施設の延命ということになっているが、用途変更した公営住宅の活用など、是非多様な方法で学生に低廉で安全な居住空間を提供いただきたい。また、単に学校に近いということだけではなく、地域住民との交流やアルバイトをしている学生等の利便性を含めた居住空間の確保が必要と思う。

[事業番号 265] 名寄青少年育成事業

外部評価としてはC。貴重な体験ができる事業であり、参加者の人数に限らず継続してほしい。現状で工夫すべきは周知の方法だと思う。保護者に向けての周知も必要ではないかという意見もあった。

【質疑応答】

会 長:すべての部会で成果指標について言及があったが、事務局から何かコメントはあるか。

事務局:C部会からの報告でもあったが、現状の評価ルールでは、妥当性など4つの評価がAだとしても達成度がCの場合は総合評価がCになってしまうことがあり、今後見直していくことが必要と考えている。随時設定見直しができる方法など、事務局で今後検討していきたい。

4 その他

事務局:本日の外部評価を踏まえて2次評価を行った後、行政評価の結果を公表させていただく。また、今後の審議会では次期名寄市総合計画の基本構想、基本計画について審議いただきたいと考えており、詳細が決まり次第、委員の皆さんに周知する。

5 閉 会

結城会長より閉会。

[会議資料]

- 資料1 第3次総合計画策定に向けた基本的考え方(案)
- 資料1-2 第3次総合計画検討体制(案)
- 資料1-3 第3次総合計画策定スケジュール
- 資料2-1 行政評価についてのQ&A

資料2-2 行政評価実施要領

資料2-3 行政評価フロー図

資料2-4 外部評価の実施について

参考資料 名寄市総合計画審議会条例

名寄市総合計画審議会条例施行規則